

安平町水道整備概要（案）

1. 現 状

○ 早来地区

早来地区の水道施設のひとつである、富岡浄水場は、井戸の揚水量が減少しているのに加え、水質的にも硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素量が多いため、北進浄水場の水道水と混合して水道基準値の3割程度として給水しています。硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の増加は、化学肥料等が主な原因となっているようなので、富岡浄水場の建設位置では、その解消は困難と考えています。

○ 追分地区

追分地区の既設浄水場の浄水処理は、「急速ろ過方式」ですが、ろ過施設が小規模であり、水源が安平川のため特に融雪時や大雨時等に適正な浄水処理が困難になります。

明春辺浄水場は地下水を水源としていますが、建設当時より水質に問題があり、現在では、特に鉄・マンガンの含有量が悪化の傾向にあります。

2. 整備計画

○ 早来地区

北進浄水場はトキサラムップ川を水源としており、以前水量調査を北海道に依頼し、現在の取水量 1,000m³/日のところ更に400m³/日の取水が可能との調査結果を受けたことにより、平成 28 年度より北進浄水場浄水施設の改修を行います。

○ 追分地区

追分浄水場は融雪時や大雨時等の高濁度水源に対応出来る浄水方法として、「膜ろ過方式」を検討し施設改修を行います。

明春辺地区は追分浄水場からの水供給が可能な事から、平成 27 年度中に明春辺浄水場の運転を休止し予備施設とします。

また、追分地区農村地域（追分旭、追分向陽、追分美園）については、平成 27 年度より追分地区の簡易水道事業区域に含め、道営事業により水道施設の整備を行います。

3. 効果等

○ 早来地区

北進浄水場の改修により、富岡浄水場の浄水処理水量を抑えることが可能となり、富岡浄水場の経費抑制が見込まれる。また、今後安定した取水により更なる安心・安定した水供給が図られる。

○ 追分地区

追分浄水場の浄水処理方式変更及び明春辺浄水場の運転休止により、早来地区同様経費の抑制が見込まれます。また今後更なる安心・安定した水供給が図られる。